



高橋瑞保氏 (はちのへファミリークリニック)

さまざまな現場での
栄養経営士のかかわり
福島氏同様、3月の

「全国栄養経営士のつどい」で優秀賞を受賞した南港病院栄養科科長の田貝泉氏は「入院時から在宅までのシームレスな関わり」として、病棟の管理栄養士が行う訪問栄養食事指導の実践について報告を行った。入院前から退院後までのシームレスな栄養サポートにおいてはケアマネジャーとの信頼関係がカギという話には、座長の先生はじめ会場の栄養士も大きくうなずく姿が目立った。

名古屋市長立緑市民病
院の栄養管理科主任で
ある岩田孝子氏は、
「胃癌術後の高齢者へ
の在宅支援」について
の症例を報告。転倒に
よる大腿骨頸部骨折、
イレウスでの入院など
想定外のイベントが発
生するという在宅なら
ではのリアルな事例
は、病院との環境の違

「全国栄養経営士のつどい」で優秀賞を受賞した南港病院栄養科科長の田貝泉氏は「入院時から在宅までのシームレスな関わり」として、病棟の管理栄養士が行う訪問栄養食事指導の実践について報告を行った。入院前から退院後までのシームレスな栄養サポートにおいてはケアマネジャーとの信頼関係がカギという話には、座長の先生はじめ会場の栄養士も大きくうなずく姿が目立った。

「全国栄養経営士のつどい」で優秀賞を受賞した南港病院栄養科科長の田貝泉氏は「入院時から在宅までのシームレスな関わり」として、病棟の管理栄養士が行う訪問栄養食事指導の実践について報告を行った。入院前から退院後までのシームレスな栄養サポートにおいてはケアマネジャーとの信頼関係がカギという話には、座長の先生はじめ会場の栄養士も大きくうなずく姿が目立った。

「全国栄養経営士のつどい」で優秀賞を受賞した南港病院栄養科科長の田貝泉氏は「入院時から在宅までのシームレスな関わり」として、病棟の管理栄養士が行う訪問栄養食事指導の実践について報告を行った。入院前から退院後までのシームレスな栄養サポートにおいてはケアマネジャーとの信頼関係がカギという話には、座長の先生はじめ会場の栄養士も大きくうなずく姿が目立った。

「全国栄養経営士のつどい」で優秀賞を受賞した南港病院栄養科科長の田貝泉氏は「入院時から在宅までのシームレスな関わり」として、病棟の管理栄養士が行う訪問栄養食事指導の実践について報告を行った。入院前から退院後までのシームレスな栄養サポートにおいてはケアマネジャーとの信頼関係がカギという話には、座長の先生はじめ会場の栄養士も大きくうなずく姿が目立った。

「全国栄養経営士のつどい」で優秀賞を受賞した南港病院栄養科科長の田貝泉氏は「入院時から在宅までのシームレスな関わり」として、病棟の管理栄養士が行う訪問栄養食事指導の実践について報告を行った。入院前から退院後までのシームレスな栄養サポートにおいてはケアマネジャーとの信頼関係がカギという話には、座長の先生はじめ会場の栄養士も大きくうなずく姿が目立った。

「全国栄養経営士のつどい」で優秀賞を受賞した南港病院栄養科科長の田貝泉氏は「入院時から在宅までのシームレスな関わり」として、病棟の管理栄養士が行う訪問栄養食事指導の実践について報告を行った。入院前から退院後までのシームレスな栄養サポートにおいてはケアマネジャーとの信頼関係がカギという話には、座長の先生はじめ会場の栄養士も大きくうなずく姿が目立った。

第7回日本在宅栄養管理学会学術集会

栄養経営士が学会を舞台に躍動！ 現場を動かす実践力をアピール

7月13日、14日の二日間にわたって駒沢女子大学で開催された、第7回日本在宅栄養管理学会学術集会(主催:一般社団法人日本在宅栄養管理学会)。「歩み寄り」在宅におけるシームレスな関係づくり」をメインテーマに、全国から多くの管理栄養士が参加した同学術集会から、一般演題に登壇し、発表を行った栄養経営士の活躍ぶりをお伝えする。

実践的な内容の報告が 多くの注目を集める

今回の学術集会では一般演題に5名の栄養経営士が登壇した。3月に大阪で開催された「全国栄養経営士のつどい」で実践報告を行い、優秀賞を受賞した谷田病院栄養科主任の福島宏美氏は「地域包括ケアシステムにおける管理栄養士の役割」について発表。介護保険制度の枠にとどまらない栄養指導のあり方と可能性を感じさせる内容が注目を集めた。

J A愛知厚生連沼沢
厚生病院の森茂雄氏
は、「在宅緩和ケアに

おけるカルニチン補給
について」の発表を
行った。カルニチン補
給を目的とした栄養補
助食品は健康者向けが
主流で終末期の患者
ニーズに合わないとい
う問題を指摘し、今後
の新製品開発への期待
を語った。

はちのへファミリー
クリニックの企画連携
室副室長を務める高橋
瑞保氏は「『看取り』
における食支援につい
て、研修会アンケート
からの一考察」のタイ
トルで登壇。市の医師
会主催の研修プログラ
ムに組み込まれている
食支援に関する講義に
ついて報告した。「ト
ロミの調整を変えた」
などの実践に繋がって
いるという報告内容に
は、参加者も興味深く
聞き入っていた。

「全国栄養経営士のつどい」で優秀賞を受賞した南港病院栄養科科長の田貝泉氏は「入院時から在宅までのシームレスな関わり」として、病棟の管理栄養士が行う訪問栄養食事指導の実践について報告を行った。入院前から退院後までのシームレスな栄養サポートにおいてはケアマネジャーとの信頼関係がカギという話には、座長の先生はじめ会場の栄養士も大きくうなずく姿が目立った。

「全国栄養経営士のつどい」で優秀賞を受賞した南港病院栄養科科長の田貝泉氏は「入院時から在宅までのシームレスな関わり」として、病棟の管理栄養士が行う訪問栄養食事指導の実践について報告を行った。入院前から退院後までのシームレスな栄養サポートにおいてはケアマネジャーとの信頼関係がカギという話には、座長の先生はじめ会場の栄養士も大きくうなずく姿が目立った。

「全国栄養経営士のつどい」で優秀賞を受賞した南港病院栄養科科長の田貝泉氏は「入院時から在宅までのシームレスな関わり」として、病棟の管理栄養士が行う訪問栄養食事指導の実践について報告を行った。入院前から退院後までのシームレスな栄養サポートにおいてはケアマネジャーとの信頼関係がカギという話には、座長の先生はじめ会場の栄養士も大きくうなずく姿が目立った。

「全国栄養経営士のつどい」で優秀賞を受賞した南港病院栄養科科長の田貝泉氏は「入院時から在宅までのシームレスな関わり」として、病棟の管理栄養士が行う訪問栄養食事指導の実践について報告を行った。入院前から退院後までのシームレスな栄養サポートにおいてはケアマネジャーとの信頼関係がカギという話には、座長の先生はじめ会場の栄養士も大きくうなずく姿が目立った。

「全国栄養経営士のつどい」で優秀賞を受賞した南港病院栄養科科長の田貝泉氏は「入院時から在宅までのシームレスな関わり」として、病棟の管理栄養士が行う訪問栄養食事指導の実践について報告を行った。入院前から退院後までのシームレスな栄養サポートにおいてはケアマネジャーとの信頼関係がカギという話には、座長の先生はじめ会場の栄養士も大きくうなずく姿が目立った。

「全国栄養経営士のつどい」で優秀賞を受賞した南港病院栄養科科長の田貝泉氏は「入院時から在宅までのシームレスな関わり」として、病棟の管理栄養士が行う訪問栄養食事指導の実践について報告を行った。入院前から退院後までのシームレスな栄養サポートにおいてはケアマネジャーとの信頼関係がカギという話には、座長の先生はじめ会場の栄養士も大きくうなずく姿が目立った。

「全国栄養経営士のつどい」で優秀賞を受賞した南港病院栄養科科長の田貝泉氏は「入院時から在宅までのシームレスな関わり」として、病棟の管理栄養士が行う訪問栄養食事指導の実践について報告を行った。入院前から退院後までのシームレスな栄養サポートにおいてはケアマネジャーとの信頼関係がカギという話には、座長の先生はじめ会場の栄養士も大きくうなずく姿が目立った。

「全国栄養経営士のつどい」で優秀賞を受賞した南港病院栄養科科長の田貝泉氏は「入院時から在宅までのシームレスな関わり」として、病棟の管理栄養士が行う訪問栄養食事指導の実践について報告を行った。入院前から退院後までのシームレスな栄養サポートにおいてはケアマネジャーとの信頼関係がカギという話には、座長の先生はじめ会場の栄養士も大きくうなずく姿が目立った。

「全国栄養経営士のつどい」で優秀賞を受賞した南港病院栄養科科長の田貝泉氏は「入院時から在宅までのシームレスな関わり」として、病棟の管理栄養士が行う訪問栄養食事指導の実践について報告を行った。入院前から退院後までのシームレスな栄養サポートにおいてはケアマネジャーとの信頼関係がカギという話には、座長の先生はじめ会場の栄養士も大きくうなずく姿が目立った。

「全国栄養経営士のつどい」で優秀賞を受賞した南港病院栄養科科長の田貝泉氏は「入院時から在宅までのシームレスな関わり」として、病棟の管理栄養士が行う訪問栄養食事指導の実践について報告を行った。入院前から退院後までのシームレスな栄養サポートにおいてはケアマネジャーとの信頼関係がカギという話には、座長の先生はじめ会場の栄養士も大きくうなずく姿が目立った。



一般演題にも多くの栄養士が集まった



岩田孝子氏 (名古屋市立緑市民病院)

「全国栄養経営士のつどい」で優秀賞を受賞した南港病院栄養科科長の田貝泉氏は「入院時から在宅までのシームレスな関わり」として、病棟の管理栄養士が行う訪問栄養食事指導の実践について報告を行った。入院前から退院後までのシームレスな栄養サポートにおいてはケアマネジャーとの信頼関係がカギという話には、座長の先生はじめ会場の栄養士も大きくうなずく姿が目立った。

一般社団法人 日本栄養経営実践協会 主催

10年後も生き残れる管理栄養士を目指そう!

第9回
「**栄養経営士**」
資格認定試験

2019年 11月17日(日)

■受験料: 8,000円(税込)
■試験会場(予定): 札幌・仙台・東京・金沢・名古屋・大阪・福岡
■受験資格: 管理栄養士(実務経験2年以上)かつ「栄養経営士」資格認定基礎講習修了者

「栄養経営士」資格認定基礎講習は
DVD視聴による受講も可能です!

3枚組・特典映像
「近森病院に学ぶ実践マネジ
メントのすべて」付き

くわしくは

🔍 栄養経営士

検索



在宅栄養管理での管理栄養士に期待される役割

第7回日本在宅栄養管理学会学術集会では、当協会の宮澤靖代表理事と児玉佳之北海道支部長、2018年3月「栄養経営士のつどい 札幌大会」で登壇いただいた厚生労働省健康局健康課栄養指導室室長補佐の塩澤信良氏が登壇。病院・地域で活動する管理栄養士に向けて、さまざまな提言を行った。

ランチオンセミナー

心不全患者の栄養療法最前線

日本栄養経営実践協会代表理事
東京医科大学病院栄養管理科科长
宮澤靖

セミナー冒頭で宮澤靖代表理事は「日本人の死因トップはがんであるが、医療費が一番かかっているのは循環器疾患」と説明。心不全の要因となる生活習慣病を減らし、循環器疾患の医療費をいかに減らせるかは、今後の管理栄養士の活躍にかかっていると参加者を鼓舞した。

心不全患者の場合、栄養食事指導では減塩が基本となるが、あるデータによると患者の32%に嚥下障害があり、また発症後はBMIが高いほうが死亡率が低い「肥満パラドックス」と呼ばれる現象が報告されている。そのため宮澤代表理事は「高齢者には、減塩よりも、まず食べてもらうことを優先すべき」と主張。近森病院で行った取り組みを紹介し、月・年単位というスパンでの減塩指導と、高カロリーの経口補助食品の使用を訴えた。



在宅緩和ケアにおける栄養管理

日本栄養経営実践協会北海道支部長
医療法人社団佳生会こだま在宅内科緩和ケアクリニック理事長／院長
児玉佳之

登壇した児玉佳之氏は、がん終末期における在宅での栄養管理について説明。患者と家族の希望を汲んだ個別の対応で、終末期のQOLが改善し、感謝された自院での事例を多数紹介した。

在宅医療専門診療所の医師の立場から、児玉氏は参加者に「病院と自宅では環境が全く違う。在宅視点での栄養指導をしてほしい」と訴え、在宅では、①



地域高齢者等の栄養・食生活支援の推進に向けて管理栄養士に期待される役割

厚生労働省健康局健康課栄養指導室室長補佐
塩澤信良

塩澤信良氏は内容を①地域高齢者等の栄養・食生活支援、②今後大きく動き出す栄養

施策、③管理栄養士に期待される役割、の3つに分けて講演。①では、これから推進され

る「地域の共食の場における適切な栄養管理に基づく配食サービス」について、大きく紹介した。

これは、通所介護等での食事に栄養管理された配食を使用して利用者の栄養改善を図るもので、その場に管理栄養士等の専門職が行って利用者の健康状態を確認し、フレイルや低栄養を予防しつつ、必要に応じて受診勧奨をするという。つまり、介護予防や保健事業の分野に、管理栄養士が加わる形になる。

この事業はこれから各市町村で行われる予定なので「積極的に関わって、管理栄養士としてのスキルを遺憾なく発揮してほしい」と塩澤氏は述べた。

②の栄養施策では、2020年に行われる栄養サミットと新しい食事摂取基準の策定について紹介された。

閣議決定した「健康寿命延伸プランの推進（図）」のなかで、これから産学官が連携して取り組みを展開し、「栄養サミットに向けて栄養食生活改善の政策を強化すること

もに、サミットで日本の栄養政策を世界に向けて発信する」と説明した。

2020年度版食事摂取基準については、高齢者のフレイル予防も盛り込まれ、医師も関心を示しているという。しかし「肝心の管理栄養士が使いこなせていないと委員から意見が出ている状態」と苦言を呈し、管理栄養士はぜひ使ってほしい、と塩澤氏は訴えた。

③の期待される役割では、管理栄養士資格試験の新ガイドラインについて説明し、今後求められる管理栄養士像について紹介した。これら

養士は地域のなかで多職種連携による栄養管理を行う能力を持つことが期待されると塩澤氏は語り、在宅栄養専門管理栄養士に求められる像として

2 地域（他）の職種との協働に基づく在宅栄養管理システムを構築し、継続した協働を行うとともに、その成果を社会に広く発信できることを提示。「もっと広い視点に立って、地域づくりをし、社会を牽引していただきたい」と締めくくった。

健康寿命延伸プランの概要

令和元年5月29日 2040本部資料1より抜粋

- ①健康無関心層も含めた予防・健康づくりの推進、②地域・保険者間の格差の解消に向け、「自然に健康になれる環境づくり」や「行動変容を促す仕掛け」など「新たな手法」も活用し、以下3分野を中心に取組を推進。→2040年までに健康寿命を男女ともに3年以上延伸し（2016年比）、75歳以上とすることを目指す。2040年の具体的な目標（男性：75.14歳以上 女性：77.79歳以上）

①健康無関心層も含めた予防・健康づくりの推進

②地域・保険者間の格差の解消

自然に健康になれる環境づくり		行動変容を促す仕掛け	
健康な食事や運動ができる環境		居場所づくりや社会参加	行動経済学の活用
インセンティブ			
I	次世代を含めたすべての人の健やかな生活習慣形成等	II	疾病予防・重症化予防
◆ 栄養サミット2020を契機とした食環境づくり（産学官連携プロジェクト本部の設置、食塩摂取量の減少（8g以下））		◆ ナッジ等を活用した健診・検診受診勧奨（がんの年齢調整死亡率低下、2023年度までに特定健診実施率70%以上等を目指す）	
◆ ナッジ等を活用した自然に健康になれる環境づくり（2022年度までに健康づくりに取り組む企業・団体を7,000に）		◆ リキッドバイオセンサー等のがん検査の研究・開発（がんの早期発見による年齢調整死亡率低下を目指す）	
◆ 子育て世代包括支援センター設置促進（2020年度末までに全国展開）		◆ 慢性腎臓病診療連携体制の全国展開（2028年度までに年間新規透析患者3.5万人以下）	
◆ 妊娠前・妊娠中の健康づくり（長期的に増加・横ばい傾向の全出生数中の低出生体重児の割合の減少）		◆ 保険者インセンティブの強化（本年夏を目途に保険者努力支援制度の見直し案のとりまとめ）	
◆ PHRの活用促進（検討会を設置し、2020年度早期に本人に提供する情報の範囲や形式について方向性を整理）		◆ 医学的管理と運動プログラム等の一体的提供（今年度中に運動施設での標準的プログラム策定）	
◆ 女性の健康づくり支援の包括的実施（今年度中に健康支援教育プログラムを策定）		◆ 生活保護受給者への健康管理支援事業（2021年1月までに全自治体において実施）	
		◆ 歯周病等の対策の強化（60歳代における咀嚼良好者の割合を2022年度までに80%以上）	
III	介護予防・フレイル対策、認知症予防		
◆ 「通いの場」の更なる拡充（2020年度末までに介護予防に資する通いの場への参加率を6%に）		◆ 高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施（2024年度までに全市区町村で展開）	
◆ 介護報酬上のインセンティブ措置の強化（2020年度中に介護給付費分科会で結論を得る）		◆ 健康支援型配食サービスの推進等（2022年度までに25%の市区町村で展開等）	
◆ 「共生」「予防」を柱とした認知症施策（本年6月目途に認知症施策の新たな方向性をとりまとめ予定）		◆ 認知症対策のための官民連携実証事業（認知機能低下抑制のための技術等の評価指標の確立）	

栄養部門の新人～主任クラスに向けて 宮澤靖代表理事が 栄養経営について講義

全国に32の労災病院を有する、独立行政法人労働者健康安全機構では、3年に一度、栄養士研修を実施している。全国の労災病院から管理栄養士が集まり、神奈川県川崎市にある総合研修センターで3日間にわたって行われる研修のなかで、この度、当協会代表理事である宮澤靖（東京医科大学病院栄養管理科科长）が講師を務めた。その様子をお伝えする。



**栄養部門が病院経営に
対して貢献するという
意識を持たせたい**

今回の研修を企画したのは、浜松労災病院で栄養管理部室長を務める、本研修のファシリテーターも務める、栄養経営士の原田雅子氏。資格認定基礎講習のなかで宮澤代表理事が話した「病院の管理栄養士一人ひとりが経営に参画するという意識を持つことが大切」という点に強く共感したという原田氏は、今回の研修のねらいについて、「病院も経営をしっかりと考えていかなければならないなかで、管理栄養士も経営にどのように貢献できるのかを意識することは不可欠。今回の研修のカリキュラムをつくるなかで、この話をぜひ当機構の管理栄養士にも聞かせたいと考えました」と話す。

**管理栄養士が力を発揮
できる環境をつくるこ
とが管理職の役割**

冒頭、宮澤代表理事は管理栄養士を取り巻く現状について、「日本の栄養士の1日の業務をみると、午前中は厨房に入り、午後からは病棟に回って糖尿病と慢性腎不全と胃切除後の3件の栄養指導を行う、といったことが普通に行われている。これでは専門分野を持っていても難しいし、せっかく素晴らしいスキルを持っていてもこのような環境で100%の力を発揮することはできません」という問題を指摘。

その現状を踏まえ、一人ひとりの患者に対してきちんとした栄養サポートを提供するためには、業務の切り分けが重要とし、「とにかく『選択』と『集中』が不可欠。管理栄養士の資格を持っていないとできないこと以外はやらせない、というくらいの意識を持つて業務の切り分けを行えば、必ず現場は変わります」と栄養部門への期待を語った。



分けてもなかなか病棟に行けないケースもある。その問題の根本には「病棟で何をしようのかかわからない」という管理栄養士が多いとしたうえで、宮澤代表理事は「そこを考えたあげるのは管理職の仕事。きちんとしたカリキュラムを組んで系統的に学べるような仕組みを構築することはもちろん、その結果どうなるのかという将来のビジョンをしっかりと伝えることが必要です」と管理職のミッションを強調した。

実践！ 栄養管理講座 SEASON4

みんなが苦手な統計学や論文作成も、これでできる！
臨床研究と論文作成

B-1 2019年9月21日(土) 13:30～18:30
統計学① — 臨床研究の考え方や進め方など —

B-2 2019年9月22日(日) 9:30～16:00
統計学② — データ収集と統計・分析、論文の作成法など —

講師：齊藤 大蔵氏（海老名総合病院 栄養科 主任／栄養経営士）
受講料：【会員】1回6,000円 【一般】1回10,000円
※他コースとまとめて6講座以上受講の場合は割引あり
会場：株式会社日本医療企画 セミナールーム
（東京都千代田区神田岩本町4-14 神田平成ビル 5F）
定員：50名（先着順）



講師からのメッセージ



齊藤大蔵氏

「臨床研究」、「論文作成」のタイトルだと少し硬いイメージや高質なイメージを持たれてしまうかもしれませんが、今回は日常的なデータを活用するための方法に焦点を当てました。実際の給食・栄養管理での具体例を使用するので、各施設で取り組む際の参考になるのではないかと思います。

最終的に学会発表や論文作成までできたら最高ですが、目標はあくまで『日常業務に生かすには』です。セミナーでは簡単な計算をしてもらいますので、スマートフォンなどの電卓アプリでも構いませんが、ぜひマイ電卓をお持ちください。

栄養経営士が知っておきたい!

イベント 情報掲示板

栄養経営士に求められるのは、さまざまな情報へのアンテナを張り、自身の知識・スキルを常にアップデートしておくこと。そのための貴重な機会である、全国で開催されるイベント情報を、支部の研究会を中心に掲載します。

セミナー

学校給食の栄養管理者向けセミナーVol.3 学校給食における食物アレルギー対応研修会

食物アレルギーについての概要や国の方向性についての解説と、実際に学校現場で食物アレルギーが起こったときの対応や事故防止策などが学べます。

- 日程：第3回:9月21日(土)10:00~15:30(開場9:30~)
- 講師：田中延子氏(株式会社オフィス田中代表取締役、京都府立大学京都和食文化研究センター客員教授/元文部科学省学校給食調査官)
秋葉佳子氏(千葉市立新宿小学校栄養教諭、アレルギー大学講師)
林典子氏(学校法人ソニー学園湘北短期大学生活プロデュース学科准教授)
- 参加費：6,980円(税込) ※昼食のお弁当とお茶付
- 会場：ジャパンタイムセミナースタジオ(東京都文京区本郷4-2-8-3F)
- 定員：36名(先着順)
- お問い合わせ：ジャパンタイムセミナー
TEL: 03-6683-6167

セミナー情報

しっかり食べて退院につなぐ 看護師のための口腔の評価とケアセミナー in 大阪

経管栄養の方々に安全においしく経口摂取していただくには、口腔の状態を適切に評価し、しっかりケア・サポートするためのオーラルマネジメントの視点が重要です。そのために必要な口腔アセスメントと口腔ケアの基礎から実践まで、実技を取り入れながら学びます。

- 日程：2019年10月26日(土) 12:30~16:30
- 講師：松尾浩一郎氏(藤田医科大学医学部歯科・口腔外科学講座主任教授)
三鬼達人氏(藤田医科大学病院看護長、摂食・嚥下障害看護認定看護師)
- 参加費：3,000円(税込)
- 会場：新大阪丸ビル別館4-3(大阪市東淀川区東中島1丁目18-22 丸ビル別館 4階)
- 定員：100名(先着順)
- お問い合わせ：株式会社日本医療企画(担当:新免)
TEL: 06-7660-1761

協会事務局より

2019年8月期限の会員の皆さまへ 【年会費納入および資格更新のご案内】

本年8月に年度会費・会員資格の有効期限を迎える会員の皆さま、お手続きはお済みでしょうか? 支払期限は7月19日(金)となっておりますが、まだ事務局では対応いたしていません。

早急にご確認およびお手続きいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

- 対象者：年度会費・会員資格の有効期限が「2019年8月19日」の「個人正会員」、「栄養経営サポーター」
- 年度会費：【個人正会員】10,000円
【栄養経営サポーター】8,000円
- 資格更新：【個人正会員】15,000円(年度会費込み)
※申請書類・課題をご提出ください。
【栄養経営サポーター】13,000円(年度会費込み)
- お問い合わせ：一般社団法人日本栄養経営実践協会
TEL: 03-5289-7021

学会情報

第41回日本臨床栄養学会総会・第40回日本臨床栄養協会総会 第17回大連合大会

「ライフステージを考慮した臨床栄養の発展 -世代をつなぐ&地域をつなぐ 食と栄養-」をテーマに、小児から高齢者まで各世代での問題や、各疾病の先端情報を織り交ぜたプログラムが予定されています。

- 日程：2019年10月26日・27日(土・日)
- 演者：特別講演:柴田重信氏(早稲田大学先進理工学部教授)
特別教育講演:佐々木敏氏(東京大学大学院医学系研究科社会予防疫学分教授)
ほかに教育講演、市民公開講座、合同シンポジウム等を予定
- 参加費：【一般】15,000円 【学会員】12,000円
- 会場：名古屋ガーデンパレス(名古屋市中区錦三丁目11番13号)
- お問い合わせ：株式会社コンベンションリンケージ内 運営事務局
TEL: 052-433-1011

「栄養経営士」資格認定基礎講習

資格認定試験の受験前に、「栄養経営」という考え方を理解するために受講いただく講習です。本講習の受講が、栄養経営士資格認定試験の受験要件となります。

DVD視聴による受講も可能!
☆3枚組、特典映像付き☆

栄養経営士も会員価格で聴講できます!

【こんな方におすすめ】

- ・DVD受講だったので、会場受講をしてみたい
- ・栄養経営士の方向性を、改めて確認したい
- ・栄養経営士として、もう一度、話を聞きたい ……

講習内容

オリエンテーション。
「栄養経営士」に必要な能力について

1. 院内・施設内における栄養部門の現状分析
2. 目標設定能力と達成に向けた実践的アプローチ
3. 業務の質を高めるためのアウトカム分析
4. 「栄養経営士」に求められる教育と人事能力
5. 適材適所の組織マネジメント
6. 病能の把握能力

- 講師：宮澤 靖 代表理事ほか
- 受講料(会場、DVDとも)：8,000円(税込)
- 時間：10:00~17:00(予定)

2019年度 日程決定!

会場	日程
東京	5 終了しました)
名古屋	6 終了しました)
大阪	7 終了しました)
仙台	9月1日(日)
帯広	9月15日(日)
福岡	9月22日(日)